

日本木材学会 組織と材質研究会 秋季シンポジウム 2016

「あて材の科学 -樹木の重力応答と生存戦略-」

組織と材質研究会代表幹事 (九州大学大学院農学研究院)

松村順司

日本木材学会 組織と材質研究会の会員が中心となって執筆した「あて材の科学 - 樹木の重力応答と生存戦略-」が 2016 年 3 月に海青社より発刊となりました。

発刊を記念して、本シンポジウムでは、編集代表の先生方にあて材の科学に関する最新の情報を提供頂きました。

参加者は 43 名で、学生 16 名が参加しました。当研究会の特徴ですが、非常に活発な意見が飛び交った秋季シンポジウムでした。

日 時 : 2016 年 9 月 30 日 (金)

場 所 : 京都大学北部キャンパス内農学部総合館講義室

主 催 : 日本木材学会 組織と材質研究会

参加費 : 無料

申込先 : 宇都宮大学農学部 石栗 太 氏

プログラム:

13 : 00 ~ 受付

13 : 30 ~ 13 : 35 開会挨拶 (組織と材質研究会代表幹事 松村順司)

13 : 35 ~ 13 : 40 趣旨説明 (宇都宮大学農学部 石栗 太)

13 : 40 ~ 14 : 30 講演 1 : あて材の組織と構造 -特に広葉樹のあて材について

(宇都宮大学農学部准教授 石栗 太)

14 : 30 ~ 15 : 20 講演 2 : あて材の形成と成分分布

(京都大学大学院農学研究科教授 高部圭司)

15 : 20 ~ 15 : 30 休憩

15 : 30 ~ 16 : 20 講演 3 : あて材の成長応力 -現状とあらたな課題

(名古屋大学大学院生命農学研究科教授 山本浩之)

16 : 20 ~ 17 : 10 講演 4 : あて材の形成と植物ホルモン

(東京農工大学大学院農学研究院教授 船田 良)

17 : 10 ~ 17 : 30 総合討論

17 : 30 ~ 17 : 35 閉会